

マーケットの動き (2021年12月6日～12月10日)

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

バイデン政権のファウチ首席医療顧問の発言や大手製薬会社が示した初期の調査結果を受けて、新型コロナウイルス「オミクロン型」への過度な警戒感が後退したことや、11月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想通りの結果であったことを好感し上昇しました。

欧州市場も上昇しましたが、英国における新型コロナウイルス対策の行動規制強化の動きにより警戒感が高まったことで、米国より小幅な上昇に留まりました。

投資環境見通し (2021年12月)

外国株式相場は底堅く推移

米国：足元のインフレ下においても堅調な個人消費が続くとみられること、部材供給制約が次第に緩和されていくとみられることから、企業業績は改善基調を維持するとみています。新型コロナウイルスの変異型「オミクロン型」の動向や、連邦政府の債務上限問題などの先行き不透明感は残りますが、企業業績に対する期待を背景に底堅く推移するとみています。

欧州：新型コロナウイルスを巡る各国政府の対応やエネルギー価格の動向から変動率が高まる可能性があります。好調な欧米経済を背景に米国と同様に堅調な企業業績が見込まれることから、底堅く推移するとみています。

	12月10日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,712.02	3.82%	1.41%	11.15%	28.46%
NYダウ	35,970.99	4.02%	▲0.30%	4.37%	19.91%

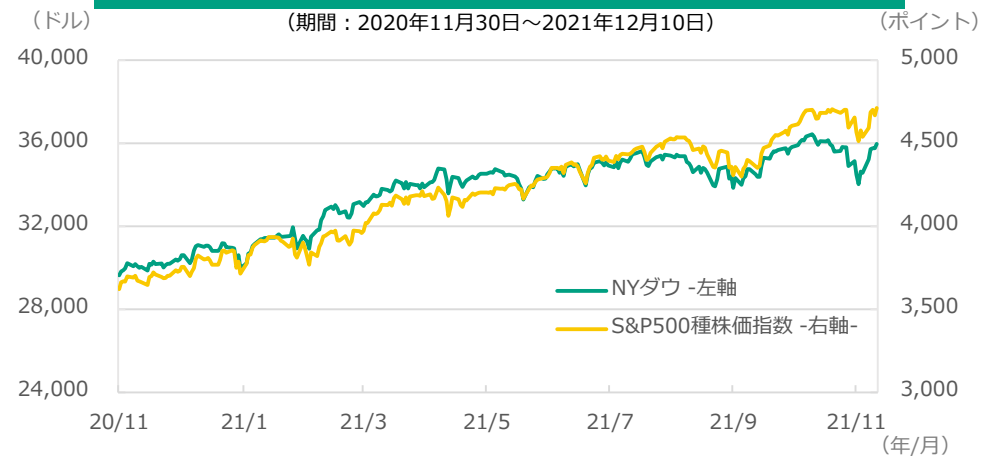
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

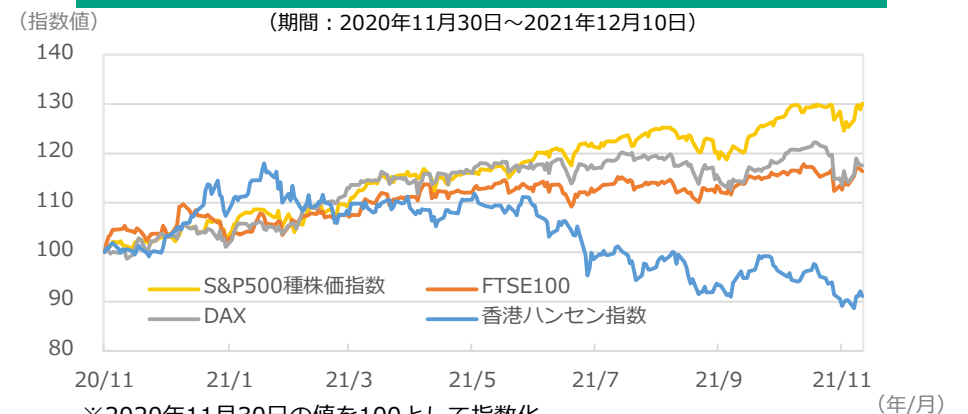
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202112_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2020年11月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成